

教員用 授業の流れ

1. 授業実施場所

別紙参照 ★活動場所を朝確認させる

2. 生徒の持ち物

課題研究メソッド、課題研究ノート、参考文献

3. 教員の準備

1) タブレット (教室活動の生徒用)

2) 図書室担当：杉本先生

PC 室担当：梅村先生

実験室担当：椎葉先生

◎よろしくお願ひいたします。

4. 授業展開例

	時間	学習内容	教員の指導・留意点
導 入	7 限	<p>●始まる前にパソコン室・図書館に移動。 16:05に教室に戻る。</p> <p>○2 学期期末考査開けから研究のまとめに入れるように準備する。早いグループはまとめ始める。</p> <p>○P43～研究ノートを記入しながら研究を行う。</p> <p>○次回は 11 月 27 日 (火) です。(期末考査前日) 進めておける調べ物や研究はやっておきましょう。<u>研究活動は 11 月いっぱいです。その後は研究まとめに入れるよう計画的に行いましょう。情報の授業も使って Power Point にまとめます。ポスター発表会は、Power Point のページを 10 数枚貼付ける形で行う予定です。</u></p> <p>●<u>2 年生の発表会は 2 月 13 日です。</u></p> <p>○活動場所が教室・パソコン室・図書館以外の場合は申し出ること。</p>	<p>★活動場所を朝確認させる。</p> <p>○各クラスに 10 台ずつタブレットを配布する。</p> <p>★研究ノートを必ず書かせる。 ★参考文献を書く。 ★アンケート用紙は担当教員＋課題研究担当でチェックする。</p> <p>○次回の予告： 研究を進めることができるよう、資料の準備をする。次回の教室を各自確認しておくこと。</p> <p>★必要な購入物品があれば申し出させる。</p> <p>★<u>(生徒には伝えない。) 3 年の成果発表会を前倒して 7 月末か 8 月上旬に行う案が出ています。</u></p> <p>★<u>2 年生の研究を継続させるか多少の修正で継続的に行うことになると思います。(内容によっては新たな課題でなければ深められないグループもあると思われる。)</u></p>